

「建て替えなくても大丈夫！話題のSRF工法「震度8耐震」

地震活動期の耐震セミナー

〈想定を超える地震に耐える〉

SRF工法で補強した施設は、2011年東日本大震災、2016年熊本地震でも倒壊しないことはもとより、

「揺れが少なく、被害がなかった」との評価を多数いただいております。

上記の震災では、新耐震基準の想定を数倍から一桁上回る強さと長さの地震動が観測され、新耐震、耐震補強済み、免震、制震でも使用継続できなくなる事例が相次いで報告されています。

SRF工法は、鉄やコンクリートを足すのではなく、しなやかで切れない材料を用いることで、

揺れを抑え、仕上げ、設備を含め、建物・施設の使用継続性を確保する方法です。

セミナーでは、SRFの材料から実施例まで詳しくご説明します。

震度8耐震とは

新耐震基準は震度6強から震度7に耐えることとされています。

ところが震度は7が上限です。最近観測された地震の揺れは、同じ震度7でも

新耐震の1.0倍近い強さを持っています。SRF工法は、しなやかで切れない

高延性材を用いることで、現行基準を遥かにこえる地震に耐えることを、

震度8耐震と言い表しています。

日時	平成30年1月25日（木） 14:00～16:00
定員	30名
参加費	無料
会場	長崎県勤労福祉会館 3階小会議室C (長崎市桜町9-6)
対象	■ビル、マンションなどの改修をお考えのオーナー様 ■耐震、省エネにご興味のある方 ■SRF工法について概略を知りたい方
申込方法	①下記申込書をFAXにて送信 ②当社HP活動期の耐震セミナー「想定を超える地震に耐える」の参加申込フォームにてお申込



講師
構造品質保証研究所株式会社
代表取締役社長
五十嵐 俊一
工学博士
日本建築学会会員
地盤工学会正会員
コンクリート工学協会正会員

【長崎セミナー参加申込書】※申込締切：1月24日（水）

法人名			
申込代表者名	参加人数	人	
TEL	FAX		
住所	〒		
メールアドレス	※申込受付メールをお送り致しますので、お持ちの場合は必ずご記入下さい。		
属性	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> SRF研究会会員(設計/施工/木造)	
個人相談	<input type="checkbox"/> 希望します	<input type="checkbox"/> 希望しません	
きっかけ	<input type="checkbox"/> 報道 <input type="checkbox"/> 検索エンジン <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> 紹介 <input type="checkbox"/> 広告 <input type="checkbox"/> DM <input type="checkbox"/> その他		

FAX送信先 構造品質保証研究所 福岡事務所 宛 092-273-0006